

「競争」ではなく「共生」の社会を神奈川から！

民主党かながわクラブ
神奈川県議団

早稲田夕季

2月補正予算では、政府が経済対策の目玉とする「地方創生」の交付金を活用した事業（約45億円）が並びました。その中身は「ふるさと旅行券」「オンラインサイトによる名物商品の販売」さらに結婚支援事業の「バスツアー」「恋かなノッパ」。これが地方創生なので

か、大変疑問です。

仏経済学者トマ・ピケテ

氏が指摘するように世界中で格差が広がっており、日本も例外ではありません。

2012年には子どもの貧困率は過去最悪の16・3%、子どもの6人に1人が貧困

状態というのが格差社会の現実を示しています。特に

急増する母子世帯での生活状況が厳しく、早急な対応を、神奈川から目指します。



大船駅前での街頭活動

建設常任委員会

www.waseda-yuki.jp

早稲田夕季

検索

でも情報を発信中

☎0467・24・0573

早稲田夕季は取り組みます！

●格差ストップの県政

非正規雇用拡大・残業代ゼロにストップ、子どもの貧困対策

●安全・安心を守る！

津波・地震対策・ゲリラ豪雨対策・火山噴火対策の強化、治安対策の強化、安全・安心な海水浴場の実現

***提案** 「県民参加の海岸のあり方検討会」、「飲酒の制限、刺青の露出禁止を含む海水浴場ルールのガイドラインの強化」を実現

●子どもの育ち、教育を守る

待機児童ゼロ・中学校給食の導入支援、児童虐待・いじめの根絶、少年犯罪防止の対策強化

***提案** 「H27年、県立フラワーセンター一部跡地を市に貸与し、保育園整備」を実現予定

●いのちを守る！

医療と介護の地域連携・障がい者の生活支援、子宮頸がんワクチン被害者の支援

***提案** 子宮頸がんワクチン被害者「H25年、県内4医科大学病院他7病院で診療」を実現

●ムダづかい全廃

天下り全廃、不断の行財政改革、市町村の広域連携の強化、議員定数削減

***提案** 「H28年、増加する住民税の滞納問題に対応するため、給与天引きによる特別徴収の一斉実施」を実現予定

●鎌倉のまちづくりを支援

県道の渋滞対策、大船立体の早期完成、由比ヶ浜大通り歩道拡幅事業、村岡・深沢地区拠点づくり

***提案** 「県立近代美術館鎌倉館の保全活用に向けて、H26年建物の劣化状況の調査」を実現

が必要で、働く者、生活者の視点で、「県民の暮らしを第一に考える政治」。「競争」ではなく「共生」の社会を、神奈川から目指します。